

参加者の活動紹介1 (一般社団法人 京都知恵産業創造の森 産学公連携推進部長 小林仁大様)

一般社団法人京都知恵産業創造の森は、「知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、産業施策を戦略的に推進し、京都経済の発展と活性化に資すること」を目的に、京都府、京都市、京都商工会議所及び(公社)京都工業会により設立されました。スタートアップ支援、産学公連携の推進、スマート社会の推進、産業人材の育成支援、交流と共同による新たな価値創造の5つの取組を推進しています。事務所は京都市の中心、四条室町の京都経済センターの3階にあり、隣接するオープンスペースKOIN (Kyoto Open Innovation Network) の管理運営も行っております。KOINは、登録された方はどなたでも2時間利用可能なワーキングスペースとして運用しているほか、連日、セミナーや交流のためのイベントなどが開催されておりますので、ぜひ一度KOINにお越しください。

また、産学公連携分野では、京都の主要な大学・高等専門学校、産業支援機関、金融機関等が参画する京都産学公連携プラットフォーム会議を運営しており、オール京都で大学等の研究成果の社会実装化を推進しています。具体的には産学公連携相談窓口を設置して、企業や大学等からの連携の相談に対応しているほか、補助金による支援、国などの支援機関の説明会の開催等の情報発信や産学公連携担当者の研修会などを行っております。

弊法人は本年11月に設立5周年を迎えます。5周年を契機に、これまで以上に、知恵の交流と融合による新たな価値の創造を図ってまいります。



参加者の活動紹介2 (株式会社 京都新聞社 舞鶴支局長 高橋晴久様)



京都新聞社は京都府と滋賀県を発行エリアとする地方新聞社です。舞鶴支局はJR東舞鶴駅前にあり、1997年11月に完成した現局舎は舞鶴の伝統ある赤れんが風を基調としたデザインとなっています。記者たちは日頃、京都府北部のニュースを掲載する「丹後中丹版」というページをメインに、舞鶴の行政やまちの話題、事件・事故などを精力的に取材して記事にしています。

また、毎月第1木曜日には支局のベテラン、秋田久氏(あきた・ひさし)記者が「海考kyoto」という大型記事を地域プラスという面で連載しています。舞鶴のみならず、京都の海を多角的に

取り上げており、是非一度ご覧になっていただければ幸いです。こうした記事は有料にはなりますが、デジタル版でも見るすることができます。

終わりになりますが、何か取り上げてほしいことや相談などございましたら、お気軽に支局へもお立ち寄りください。まちのあれこれを皆さまとお話できる機会を楽しみにしております。

書評 第3回 (舞鶴高専 内海康雄特命教授)

書名 ソーシャル・イノベーション「社会を変える」力を見つけるには
著者名 ジェフ・マルガン著、青尾謙訳
出版社名 ミネルヴァ書房
出版年月 2022.10.15



バランスを失ったままで21世紀に入った現代社会には、貧困、不平等、精神的な疾患などが現れている。ヒトはすべてのものの価値は見出したが、それらの価値を見逃してきている。2019年の「世界幸福度調査」は、収入や健康寿命よりも、人間同士の関係性が幸福度スコアの34%を占めていると説明している。

本書は、ソーシャル・イノベーションが、地域社会を含む社会の不均衡を是正する手段となり得ることと、それによる社会的創造への道筋を示す。

序論 巨大な不均衡

第I部 ソーシャル・イノベーションを理解する

第II部 ソーシャル・イノベーションの課題と新たな可能性

第III部 ソーシャル・イノベーションの起源、理論と視点

第IV部 ソーシャル・イノベーションの善悪

第V部 ソーシャル・イノベーションと未来

第VI部 新たな思考

書名 スマート水産業入門
著者名 和田雅昭
出版社名 緑書房
出版年月 2022年3月

IT 漁業を含めてスマート水産業という言葉が2018年の水産白書でも使われるようになった。百科事典的に100の事例を掲載している。日本国内の全体的な取り組みを俯瞰的に知ることができる内容です。現状と将来の漁業に関する書籍が少ない中で、これだけまとまった内容は見当たらない貴重な一冊です。海洋環境、漁場から水揚げまでの一連の流れにおける様々な活動例が盛り込まれていますので、自身の位置づけを考える上でも役立ちます。

